

平成27年度用・家庭

教科書のご案内



開隆堂

体験や実践を通して、「できる喜び」「できる自分」を発見しながら、生活に生きる確かな力を育む教科書です。

本教科書は環境に配慮した用紙やインキを使用しています。

開隆堂の「家庭科」教科書

編集の基本方針

- 2学年間の見通しをもって楽しく学べる
- 基礎的・基本的な知識や技能を確実に身につけられる
- 問題解決的学習を通して、自ら考え、主体的に工夫して学べる
- だれでも安心して授業ができる
- 家庭科としての安全・衛生・防災教育を徹底する

5年生になってはじめて学ぶ家庭科に、子どもたちはわくわく・ドキドキしながら大きな期待をしています。

開隆堂の「家庭科」教科書は、一人ひとりの子どもたちが体験や実践を通して、できることを増やし、生活を工夫し、よりよい家庭生活につなぐことができることを目指して編集しています。

子どもたちにとっては学びやすく、先生にとっては教えやすく・授業がイメージできるようにとの願いをこめて、平成27年度用の教科書をお届けします。



教科書の特徴

- 2年間を見通した、ストーリー性のある構成と題材です
- 学習のプロセスがわかるので、見通しをもって授業にのぞめます
- 使いやすい紙面構成になっています
- 安全教育を徹底しています
- 家庭科の特質を生かして「食育」の充実をはかっています
- 繰り返し・積み上げ学習で、基礎・基本の定着をはかります
- 豊富な調理実習例・製作例
- 具体的活動を通して、消費者教育の充実をはかっています
- 伝統文化やキャリア教育の視点を具体的に示しています
- 前後の折り込みページは、安全や食育の学習、実習・製作の資料として常に活用できます
- 家庭科での言語活動の充実をはかっています
- 全ページを通して、多様な色覚に対応したカラーユニバーサルデザインです
- 資料：観点別編集の特色
- デジタル教科書を含む教材群のご案内

- ➡本冊子 3～5 ページ
- ➡本冊子 6・7 ページ
- ➡本冊子 8・9 ページ
- ➡本冊子 10・11 ページ
- ➡本冊子 12・13 ページ
- ➡本冊子 14・15 ページ
- ➡本冊子 16・17 ページ
- ➡本冊子 18・19 ページ
- ➡本冊子 20・21 ページ
- ➡本冊子 24～26 ページ
- ➡本冊子 27 ページ
- ➡本冊子 裏表紙
- ➡本冊子 22・23 ページ
- ➡本冊子 裏表紙



2年間を見通した、ストーリー性のある構成と題材です

- ◎5年生になってはじめて学ぶ家庭科が「わくわく」「どきどき」しながらページをめくっていける構成と題材です。
- ◎表紙からすでにガイダンスがはじまっています。
- ◎「ガイダンス」、「もくじ」、「5年生の学習をふり返り6年生の学習へ」の紙面は一貫して、矢印を用いて「成長する」ことを示しています。

表紙からガイダンスがはじまります（表紙、家庭科の学習、もくじ、**1**わたしと家族の生活 まで、ガイダンスとして活用）

2年間で学習する題材の構成・配列がわかります

5
年
想
定

5年生の学習をふり返り6年生の学習へ

6
年
想
定

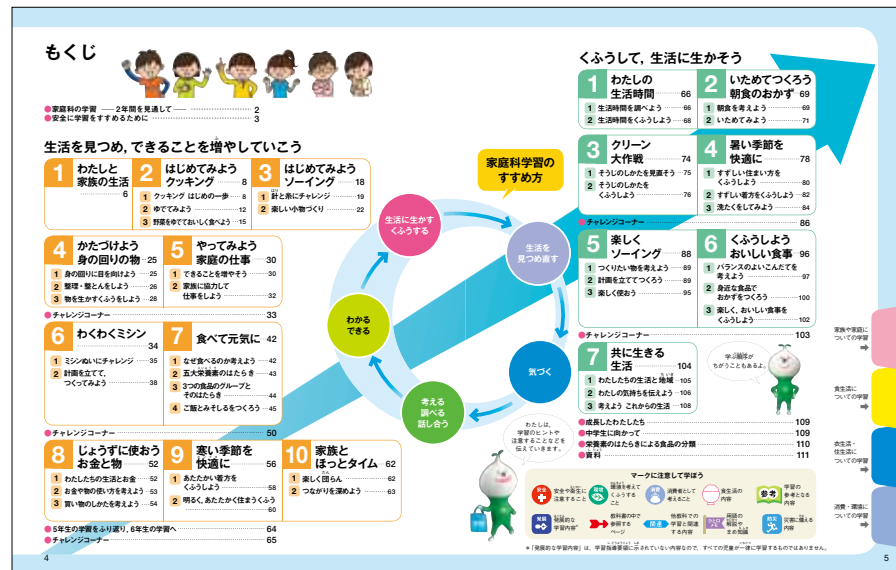
2年間の学習をふり返り、
中学生に向かって



▲教科書表紙



▲教科書 1・2 ページ



▲教科書 4・5 ページ



▲教科書 64・65 ページ



▲教科書 109 ページ

- 主人公は小学生
- 学習対象は家庭生活
 - ◎2人の小学生とキャラクターが、生活の場所と家庭生活で行われていることを表現しています。
 - 団らん・食生活・衣生活
住生活・消費・環境
- ◎環境への配慮を示しています。
 - 買い物（おさいふとエコバッグ）
グリーンカーテン

- 誕生 → 小学校入学 …… **支えられている自分** …… 5年生 …… **できるようになる自分** …… 6年生 …… 成長している自分 …… 生活をくふうし、創造する中学生
- 誕生から中学生に向かうまでの自分の成長を見通せるようになっていきます。
 - 家庭科学習と関連の深い、5年生までの他教科の学習内容や学校行事とのかかわりを、矢印の上段に示して、家庭科という教科がイメージできるようにしています。
 - ・他教科との関連は○内に、学校行事等は○内に示しています。
 - 「支えられている自分」は、小学校の入学式での表情、家族との団らん場面、学校から家に帰ったときの様子を取り上げ、矢印の下段に配置しています。
 - 5年生になって家庭科で学習する4つの内容を、「これから学ぶこと」として象徴的な写真で示しています。
 - 児童がはじめて学習する家庭科で、「2年間でできるようになりたいこと」を書きとめられるようにしています。

- 課題解決型学習が展開できるように、紙面の中心に「家庭科学習のすすめ方」として、家庭科の特性を生かした「生活を見つめ直す～生活に生かす・くふうする」をサークルで示しています。
- 大きなテーマを学年別に設定し、5年生の題材名を左ページに、6年生の題材名を右ページに配置しています。さらに5年生から伸びていく形で、6年生を上側にダイナミックに示しています。
- 教科書を通して、重要なことや注意を促す必要のあることは、「マークに注意して学ぼう」として、個別のマークを作成しています。

★10のテーマで題材を構成・配列

- 5年生の学習のふり返りは、10のテーマの題材のトビラページを使って、学習した内容を思い起こすことができるようにしています。
- 5年生でできるようになったことを、4つの内容ごとに記入することができます。
- 5年生でできるようになったことをふまえて、6年生でできるようになりたいことを記入する欄も設けています。
- 楽しくふり返ることができるように、カルタづくりも取り上げています。
- 「チャレンジコーナー」では、環境と防災に視点をあてています。

★7つのテーマで題材を構成・配列

- 2年間の学習をふり返りながら「成長した自分」を実感できるようにしています。
- 中学校の技術・家庭科の学習に期待感もてるように、中学校での4つの学習内容を示しています（特に小学校との区別が明確な内容）。

学習のプロセスがわかるので、見通しをもって授業にのぞめます

10 家族とほっとタイム

学習のめあて
1 2 家族とのふれ合いや団らんを、楽しくするくふうができるようになる。

話し合おう
どのようなときに団らんをして
いるだろうか。

1 楽しく団らん*
団らのひとときは、1日の中でつかれを忘れ、ほっと
する時間です。
かんたんな食べ物とお茶などの飲み物を用意して、家族
との団らんをもつ計画を立て、ふれ合いを深めましよう。

団らの計画と実せん ■かんたんな食べ物と飲み物を用意しよう



せん茶 げん米茶 ほうじ茶 紅茶

●食べ物と飲み物を何にするか決める。
●人数分の食べ物と飲み物を用意する。
○何人分? ○分量?
●食べ物を盛りつけ、飲み物を茶わんや
カップなどにいれる。
●みんなでおいしくいただく。

お茶のいれ方は
9ページにあるよ。

62 家族とほっとタイム *家族や親しい人と、なごやかな時間を過ごすことを「団らん」といいます。

2 つながりを深めよう

学校であったことや友だちのことを話したり、いっしょ
に仕事をしたりすると、おたがいの気持ちが伝わり、なご
やかな交流が深まります。

団らんのしかたは、家庭によってさまざまです。どのよ
うな団らんやかかわり方ができるか、くふうしてみましよう。

家族とのふれ合いを楽しくするくふうの例
白玉粉のだんごをゆでて、きな粉やあんこを
つけたり果物を組み合わせたりして食べる。

フルーツヨーグルト
バナナ、いちご、りんごなどの
果物にヨーグルトをかける。

カステラ
カステラを切って皿に盛り
つける。

冬の氷ようかん(福井県など) おやき(長野県)
ゆべし(福岡県など)

おじいちゃんの子どものころのおやつは何だったかな。

参考 お茶の話
お茶は日本の家庭で伝統的
に飲まれてきました。お茶の種
類はいろいろありますが、日本では
はせん茶が多く飲まれています。
お茶をいしくいれるには、
湯の温度やいれる時間などに
気をつけます。▶▶9ページ参照

●りんごの皮のむき方
●丸ごとむく場合

● $\frac{1}{4}$ か $\frac{1}{2}$ に切ってむく場合
(左手で) (右手で)

ふり返ろう
●生かそう
自分でチェックしてみよう!

1 家族となごやかに過ごす大切な
がわかりましたか。
2 家族と楽しく団らんしたり、ふれ
合ったりする計画を立てることが
できましたか。
●家族と楽しく団らんし、ふれ合うくふう
をして実践しましたか。

▶▶「わたしと家族の生活」(66～68ページ)、「わ
たしの生活時間」(66～68ページ)、「共に
生きる生活」(104～108ページ)とつなが
っています。

63

学習のめあて 導 入 展 開 まとめ

学習のめあて
1 2 家族とのふれ合いや団らんを、楽しくするくふうができるようになる。

話し合おう
どのようなときに団らんをして
いるだろうか。

団らの計画と実せん ■かんたんな食べ物と飲み物を用意しよう



せん茶 げん米茶 ほうじ茶 紅茶

ふり返ろう
●生かそう
自分でチェックしてみよう!

1 家族となごやかに過ごす大切な
がわかりましたか。
2 家族と楽しく団らんしたり、ふれ
合ったりする計画を立てることが
できましたか。
●家族と楽しく団らんし、ふれ合うくふう
をして実践しましたか。

指導と評価の一体化をはかるため、学習のめあてとタイトル、ふり返ろうの項目がそれぞれ呼応しています。

学習のめあて
1 2 家族とのふれ合いや団らんを、楽しくするくふうができるようになる。

1 楽しく団らん*

授業の学習のめあてと、
ふり返りがひと目でわかる
仕組みです。

ひと口メモ：用語の説明や、ひと口知識として知っておくと役に立つ内容を随所にちりばめて、授業を支援します。

*家族や親しい人と、なごやかな時間を過ごすことを「団らん」といいます。

学年ごとのテーマカラーを設定しました。

5年生 6年生

時季や季節に配慮しています

9 寒い季節を快適に

学習のめあて
寒い季節にはどのような
工夫をしているだろうか。

話し合おう
寒い季節にはどのような
工夫をしているだろうか。

**2つの題材は夏と冬で
対比できる紙面
になっています。**

▲5 学年標準 (冬季) (教科書 56～61 ページ)

4 暑い季節を快適に

学習のめあて
暑い季節にはどのような
工夫をしているだろうか。

話し合おう
暑い季節にはどのような
工夫をしているだろうか。

▲6 学年標準 (夏季) (教科書 78～85 ページ)

生活に根ざした実践的な環境教育ができます

●着られなくなった衣服などをなおしたり
つくりかえたりして使う

(例)小物づくり
▶▶22・23ページ参照

使わない
ハンカチを
利用した。

【リメイクする】
着られなくなった衣服をちがう
物につくりかえて使う。

【小さく切って使う】
着古した衣服を小さく切って、
よごれふきなどに使う。

▲5 学年標準 (教科書 28 ページ)

エネルギーの使い方について

●あたためる方の学習を生かして、衣服を重ね着したら、エアコンの温度を高くしなくてすんだ。

●使っていない部屋の照明器具がついていることに気づいたので消した。

20℃

▲6 学年標準 (教科書 105 ページ)

使いやすい紙面構成になっています

題材名

学習内容がひと目でわかるタイトルになっています。

学習のめあて

「項目名」、「ふり返ろう」の番号
どうしが呼応しており、学習の
めあてが明確です。

つめ見出し

学習指導要領のA～Dの領域
ごとにつめ見出しをつけていま
す。

課題

授業の導入時に提示すること
で、効果的に活用することがで
きます。

項目名

わかりやすく親しみやすい
項目名になっています。

2 はじめてみよう
クッキング

学習のめあて

- 1 調理用具を安全に使えるようになる。
- 2 卵や青菜をゆでる調理ができるようになる。
- 3 ゆでる調理の特徴を生かして計画を立て、調理をしよう。



調べよう
家庭では、どのような調理用
加熱器具を使っているだろう。
ガスコンロ IH クッキングヒーター

わたしたちが毎日っている食事は、食品を洗う、切る、熱を加える、味をつけるなどの調理をすることによってとどめることができます。
安全で衛生的に、環境も考えた調理のしかたを学習して自分で食事の用意ができるようになりましょう。

1 クッキング はじめの一歩

1 湯をわかしてみよう

家庭科で「湯をわかす」の手順を守り、安全に使いまわす。

はじめてみよう クッキング
クッキングは「調理」、「調理すること」で、英語では cooking と書きます。

ガスコンロの安全な使い方

点火のしかた

- 1 点火つまみ（器具せん）が閉まっていることを確かめてから、ガスせんを開く。



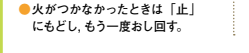
- 2 点火つまみをおしながらいったん戻す。火がついたことを確かめる。



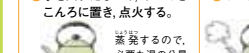
- 3 火がつかなかったときは「止」にもどし、もう一度おし直す。



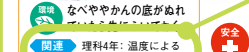
- 4 ガスもれに気づいたとき
● ガスせんを閉め、窓を開ける。
● かん気せんなどのスイッチにふれない（スイッチを入れると火花が出て、もれたガスに引火するおそれがある）。



- 5 火がついたら、火の大きさを確かめながら調節する。



- 6 消火のしかた
1 点火つまみを「止」にもどす。
2 ガスせんを閉める。



- 7 安全チェック
点火前
□ かん気はしているか。
□ 燃えやすいものがそばにないか。
点火後
□ 火がついているか。
□ ほのおがはみ出してないか。
□ たち消え、ふきこぼれて火が消えていないか。
消火後
□ 確実に火が消えているか。
□ ガスせんは閉めたか。



- 8 湯のわかしかた
1 水を入れたなべや、やかんをコンロに置き、点火する。
2 ふつとうを確かめ、火を消す。



- 9 湯をわかすとき、必要の湯の分量より少し多めの水を入れる。



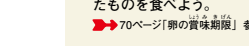
- 10 やかんのふたをふたがきき、火加減を調節する。



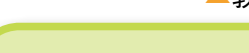
- 11 湯をわかすとき、やかんをコンロの中央に置く。手や衣服を火に近づけない。湯気の出る所に顔を近づけない。



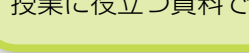
- 12 きゅうすで日本茶をいれる場合
材料と分量（1人分のめやす）
せん茶 …… 2g（小さじ1）
湯 …… 100mL（ふつとうした湯を少しさましてから用いる。）



- 13 人数分のせん茶をきゅうすに入れ、湯をそいで、しばらくおく。



- 14 どの茶わんも同じじきになるように、少しずつ順番につぎ分ける。きゅうすにお茶が残らないようにする。



- 15 水を加熱すると水面からは湯気が、水の中からはボコボコとあわが出てきます。この状態をふつとうといいます。「きゅうす」はお茶をいれる道具です。茶葉がひらくのを待つ、湯のみ茶わんにお茶をつぎます。



学習活動

イラストや写真を用いて、わかりやすいになっています。

他教科との関連

他教科と関連している学習内容を多数掲載しています。

参照ページ

既習内容や、他ページの資料等
を活用するなどして、学習を深められます。

ひとロメモ

学習に関連した用語の説明や、ひとロ知識です。

● 特設ページを合わせると、より効果的に授業に取り組めます

（本冊子 26 ページを参照）



▲教科書 111・112 ページ



▲教科書 113 ページ

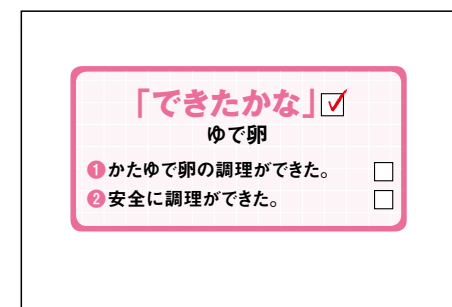
ひとロメモで取り上げている語句のほか、家庭科でよく使用される語句を掲載しました。さくいんとして、また言語活動にも使用することができます。



▲教科書 12 ページ

参考

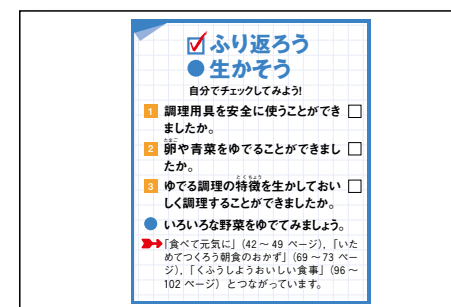
授業に役立つ資料です。



▲教科書 12 ページ

できたかな

技能チェック表で、学習成果を確かめられます。



▲教科書 17 ページ

ふり返ろう・生かそう

めあてと呼応しており、学習内容をふり返ることができます。

安全教育を徹底しています

● いつでも開いて確認できる特設ページを設けています

(本冊子 24 ～ 26 ページを参照)

安全

安全に学習をすすめるために

安全のために必ず守る基本的事項をまとめています。常に開いて活用できます。

調理

×



整理・整とん

- 作業をしやすく

×

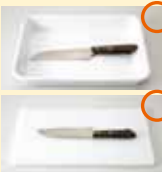


活動

- よそ見をしない
- ふざけない
- じゃまをしない

包丁

- ・置く場所を決めておく。
- ・運ぶときはバットなどに入れる。
- ・置くときは安定した場所に置く。
- ・使用後はすぐかたづけ。



こんろ

- ・燃えやすい物をそばに置かない。



フライパン・なべ

- ・火にかけているとき、火からおろしたばかりのときは、熱いので手をふれない。
- ・熱湯の入ったなべも取り扱いに注意する。



製作

×



針

- ・手からはなすときは針さしにさす。
- ・使用前後には本数を確かめる。
- ・針が折れたら折れた先を探して、折れ針入れに入れる。

×

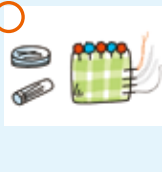


ミシン

- ・使う直前に電源を入れ、使い終わったら電源を切る。
- ・コントローラーは、ぬうときだけ足をのせ、ゆっくりふむ。

用具の取りあつかい

- 目をはなさない
- 使わないときはしまう
- 置く場所に注意する



アイロン

- ・使用しないときは立てておく。
- ・コンセントをぬれた手でさわらない。
- ・コンセントにプラグを差しこんだり、ぬいたりするときは、コードを引っ張らないで、プラグを持って行う。



防災

いざというときのために

ところがけておこう

- 家庭科室や机の上は、いつも整理・整とんをしておこう。
- どのようなことが起こるか、予想しておこう。
- いつも、なぜそうするのかを考えよう。
- いつもとちがうことが起きたとき、どうすればよいかを考えておこう。
- 自分から進んで行うことや、友だちと協力することについて考えておこう。

地震や災害が起きたときには

- 落下物などから身を守る。
- 包丁やはさみ、針などの取り扱い注意の物は、自分や周囲の人に危害がおよばないようにする。
- ガスこんろの火を消し、ガスせんを閉める。
- アイロンを使用しているときは、電源を切る。
- 家庭科室では、机の下にもぐることが危険なこともある(湯や包丁、アイロン、はさみなどが机の上にあるとき)。

3

▲教科書 3 ページ

● 安全マーク・防災マークを随所に配置しています

安全

+

安全

調理をするときに気をつけること

調理台の上は、作業がしやすいように整理する。

よそ見をしない。

▲教科書 11 ページ

安全

はさみのわたし方

わたす人に刃先を向けない。

▲教科書 21 ページ

安全

住宅用洗ざいの使い方

住宅用洗ざいを使う場合は、必ず表示を読んで、使用方法や注意を守り、適量を使う。

ちがう種類の洗ざいを同時に使うと危険だよ！

▲教科書 77 ページ

防災

+

防災

災害などのときに持ち出したい物は、整理・整頓しておくといいね。

▲教科書 33 ページ

さいがい

手ぬぐいは災害のときにも役立ちます

頭にかぶって身をまもる。

けがや骨折をしたときは、包帯として使う。

しばってふくろのようにし、小さな荷物を入れる。

寒いときに身につける。

▲教科書 103 ページ

防災

わが家で準備することは何だろう。

▲教科書 108 ページ

● 食物アレルギーにも対応しています

② 調理の手順と調理用具を知ろう

調理をするときは、下の図のように計画を立てて準備をし、見通しをもってすすめると、安全に効率よくおいしい料理をつくることができます。食物アレルギーがある場合は、自分が食べられるものを知っておきましょう。

調理のための用具にはたくさんの種類があります。

はかる、洗^{あら}う、切る、加熱するための調理用具の名前を知り、正しい使い方を身につけましょう。

▲教科書 10 ページ

品 名	ワインナーソーセージ
原材料名*	ぶた肉、とり肉、結着剤 材料（てんぷん（小麦**） をふくむ）、だいず** （たんばく）、食塩、香辛料 さとう、調味料（〇〇）、 発色剤（〇〇）、保存料 （〇〇）、*****
内 容 量	150g
賞味期限	○年○月○日
保存方法	10℃以下で保存すること
製 造 者	〇〇会社、〇〇県〇〇市

—*原材料名は、材料の多い順にならんでいて、調味料、発色^色剤、保存料などを食品添加物という。
***食物アレルギー**がある人に重要な情報となっている。

▲教科書 71 ページ

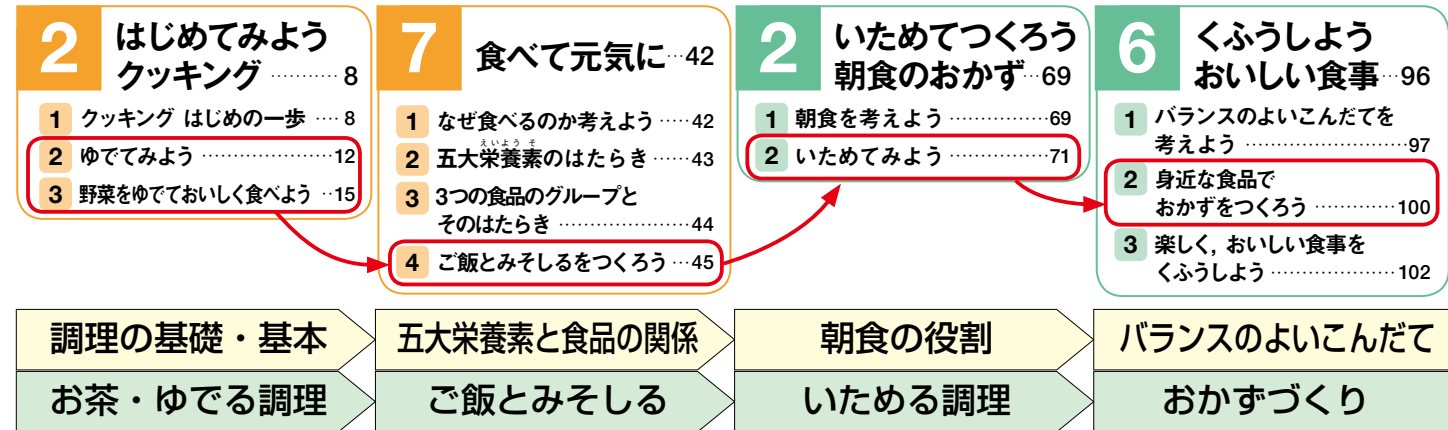
卵のゆで方 (卵アレルギーがある場合は、切ったじゃがいもなどをゆでてみよう。)

▲教科書 12 ページ

家庭科の特質を生かして「食育」の充実をはかっています

- 「食」についての学習は、2年間を通してストーリー性（系統性）をもった題材の構成・配列をしています。

【5年生想定】



- 調理の手順はすべて児童の側から見たときの写真で示しています。

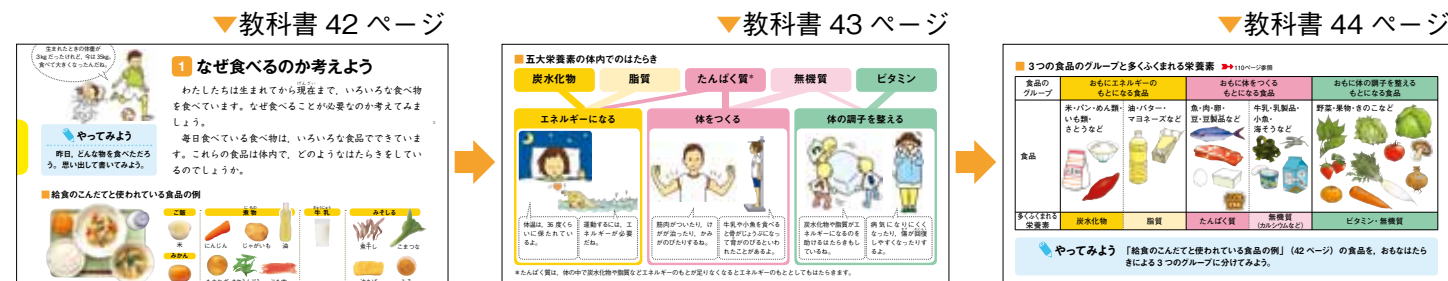
青菜のゆで方 (写真はほうれんそうの例)



- 実習中に教科書を見ながら、調理の過程の材料の状態がわかるので、失敗を防げます。
- 教科書を見ながら、家庭での実践に取り組みます。

◀教科書 13 ページ

- 給食を基にして、食品と五大栄養素、食品のはたらきの関係が、児童の思考の流れにそって理解できるように示しています。



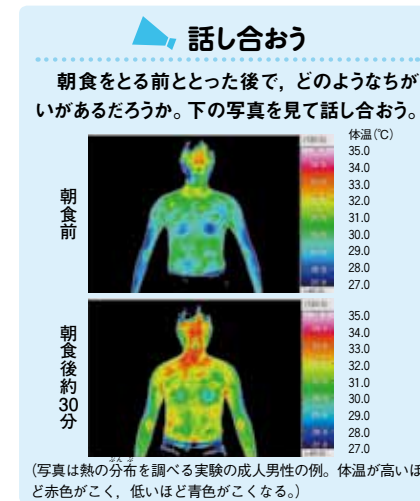
折り込み 110 ページの「栄養素のはたらきによる食品の分類」と合わせて活用すると、より効果的です (本冊子 24～26 ページを参照ください)。



食生活の内容

- ◎給食からつながる「食」の学習を大切にして、家庭科の特質を生かして2学年間の学習の流れが系統性をもつ構成・配列です。
- ◎健康で安全な食生活を実践するための基礎を培うことができるように、ていねいに、繰り返し学習ができる紙面構成です。

- なぜかがわかる科学的根拠に基づいた資料、ひとめでわかる資料が豊富です。



朝食の前後で体温の変化がわかる実験結果を写真で示して、朝食の大切さを実感させることができます。

◀教科書 69 ページ

野菜やいもの種類と、水からゆでるもの、お湯からゆでるものの関係が、ひとめでわかります。

▼教科書 15 ページ

野菜やいもの種類とゆで方・見分け方

	ゆで方		新鮮な野菜やいもの見分け方
	おもに水からゆでる	おもに湯からゆでる	
花	花やつぼみを食べる	カリフラワー さやいんげん ほうれんそう 小松菜 キャベツ はくさい アスパラガス	・固くしまっていて色つやがよい ・色つやがよくてみずみずしい**
果実	果実や種を食べる	かぼちゃ	
葉	葉を食べる		
茎	茎を食べる		
地下茎	地下茎を食べる		
根	根を食べる	れんこん じゃがいも にんじん だいこん さつまいも	・いもは芽が出ていないもの ・緑色の野菜を色よくゆでるには湯からゆでる。

関連 理科3年:植物の育ち方

- 「和食」に関することも取り上げています (本冊子 20・21 ページも参照ください)。



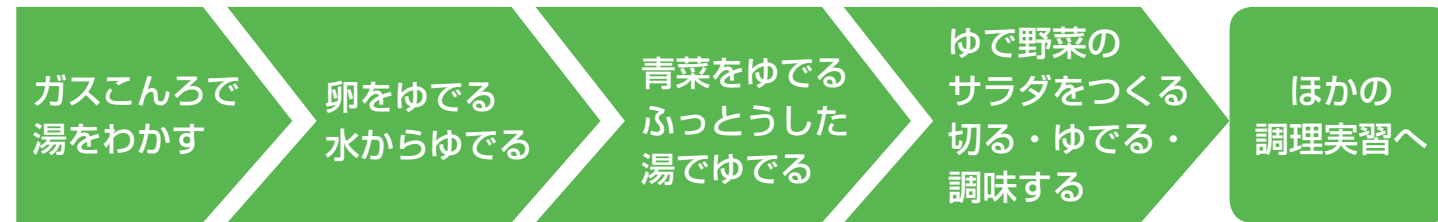
配膳のしかたもわかります。

◀教科書 45, 96 ページ

- 巻末の「調理実習を成功させるために」も、基礎・基本がひとめでわかります (本冊子 8, 26 ページを参照ください)。

繰り返し・積み上げ学習で、

● 簡単なものから繰り返し・積み上げて



調理実習の例

5年生想定 of 調理の基礎がしっかり定着できるようにしています。

青菜をゆでる



卵をゆでる



次の調理の題材へ

いろいろな野菜をゆでる



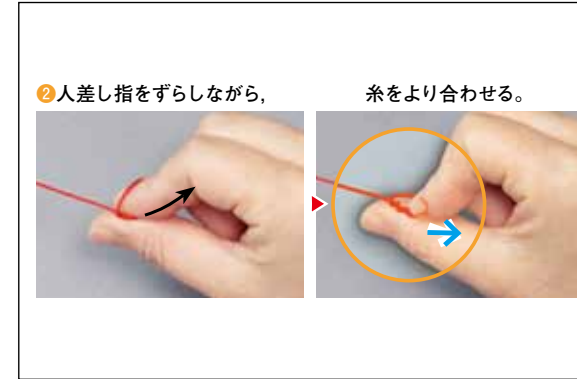
ガスこんろの使い方



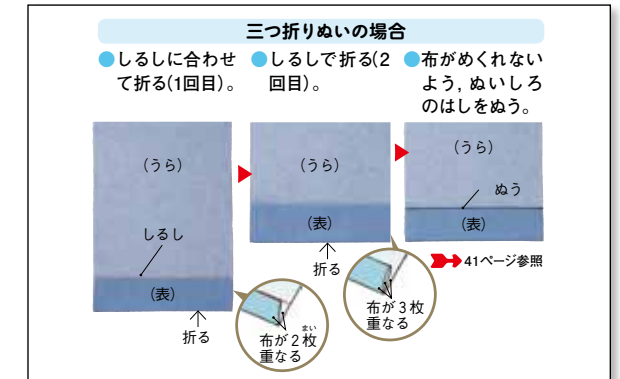
● 他の題材も同様の構成です

基礎・基本の定着をはかります

● 写真とイラストでわかりやすく例示



▲教科書 19 ページ



▲教科書 112 ページ

● 調理手順は写真でより具体的に

児童の目線と同じ角度の写真にしました。わかりやすく、家庭でも実践できます。



▲教科書 73 ページ

● つまずきやすいところは拡大



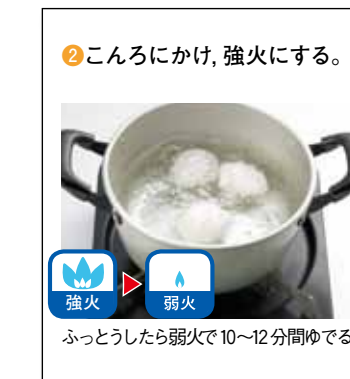
▲教科書 91 ページ

● 裏表紙に切り方の一覧表



▲教科書裏表紙

● マークでわかる火加減



▲教科書 12 ページ



▲教科書 49 ページ

豊富な調理実習例・製作例

◎小学校で学ぶ「ゆでる」「いためる」。基礎・基本をおさえて、やさしいものから順に実習していきます。
◎児童が「つくってみたい」と感じる参考作品。各自の技能レベルに合った製作物を考えやすい豊富な製作例。

★調理実習

●ゆでる 「はじめてみよう クッキング」(教科書 8～17 ページ)

<実習例>

日本茶(湯をわかす) ゆで卵



青菜のおひたし



カラフルゆで野菜サラダ



<参考例>

こまつなのごまあえ



ねぎのすみそあえ



ミニトマト入りゆで野菜サラダ



5 年生

●ご飯とみそしる 「食べて元気に」(教科書 42～49 ページ)

<実習例>

ご飯



みそしる



<チャレンジコーナー>

おにぎり



<チャレンジコーナー>

ゆで卵サンド



そうめん



★製作

●玉結び・玉どめ ボタンつけ 手ぬいの基礎 「はじめてみようソーイング」(教科書 18～24 ページ)

<実習例>

マスコット(玉結び)



マスコット(玉どめ)



ネームプレート



フェルトでつくるカード入れ



布でつくるティッシュペーパー入れ



●ミシンぬいの基礎 「わくわくミシン」(教科書 38～41 ページ)

<実習例>

ランチョンマット



クッション



マルチカバー



まくらカバー



<チャレンジコーナー>

花ふきん



ブックカバー



●いためる 「いためてつくろう 朝食のおかず」(教科書 69～73 ページ)

<実習例>

スクランブルエッグ



三色野菜いため



<チャレンジコーナー>

塩やきそば



いろいろ弁当



6 年生

●ゆでる・いためる 「くふうしよう おいしい食事」(教科書 96～102 ページ)

<実習例>

粉ふきいも



ジャーマンポテト



<発展>

目玉焼き



<参考例>

ツナポテトサラダ



<発展>

野菜の煮物



6 年生

5 年生

<参考例>

ネームプレート



いろいろな小物



<チャレンジコーナー>

ペットボトル



キャップの針さし 弁当つつみ



●手ぬい・ミシンぬい 「楽しくソーイング」(教科書 88～95 ページ)

<製作例>

マイバッグ



エプロン



ナップザック



カフェエプロン



<参考例>

フリルきんちゃく



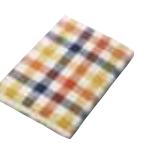
小物の整理に役立つバッグ



湯たんぽカバー



ブックカバー

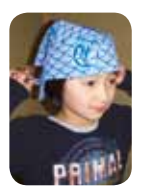
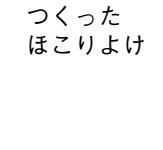


<チャレンジコーナー>

フォーク・スプーン入れ



手ぬぐいでつくったほこりよけ



具体的活動を通して、消費者教育の充実をはかっています

◎各題材の中でも「消費・環境」との関連を意識させています。

● 家族・家庭、食生活、衣生活など他の内容と消費・環境の関連を

【食品】調理をするときは、捨てる部分が少なくてすむように工夫する。
(例)カラフルゆで野菜サラダの調理
▶▶ 17ページ参照

キャベツのしんの利用
ブロッコリーの茎の利用

●むだなく使う
【布や紙などの材料】
どうしたらむだが出ないか、よく考えて使う。
(例) ネームプレートづくり
▶▶ 20ページ参照

「かたづけよう身の回りの物」の学習で、食生活・衣生活との関連をはかっています。

ペットボトルキャップの針さし

不用になったハンカチでつくる袋

身の回りにあるものを利用して

▲ 教科書 28 ページ

▲ 教科書 23 ページ

具体的に示しています。

買い物のときは… 食器洗いや洗たくのときは… 不用な服は… 紙やペットボトル、びんやかんは…

● 買い物ぶくろを持っていく。 ● 水や洗ざいを使いすぎない。 ● 小さく切り分け、よごれをふきとるときに利用する。 ● 資別

「家族・家庭」の題材でも消費・環境とのかかわりをもたせています。

▲ 教科書 32 ページ

▲ 教科書 7 ページ

● 「物を生かすくふう」として、不用品を資源として活用したり、適切な処分について 5 年生から学習できるようにしています。

話し合おう
身の回りにくふうする物や不用品があるかな？

3 物を生かすくふうしよう
整理・整頓やそうじをすると、必要でない物やごみが出ます。必要でない物のことを不用品と呼びます。整理・整頓をして、自分の持ち物を確認したり、使い切ったりすると、不用品は少なくなります。不用になった物でも、人にゆずったり、つくつかえたりすると活用できます。

物を生かして使うくふう—ごみを減らす 3R—
● 最後まで使い切る
● むだなく使う
● 【食品】調理をするときは、捨てる部分が少ないように工夫する。
● 【ペットボトル、食品トレイ】洗って再び出荷するリサイクルマークを再利用する

自分でも活用できない物でも、地域の決まりに従って、きちんと分別して出すと資源として再利用・再生利用ができます。地域で集められたごみを処理するためには多くの費用と資源が使われています。ごみはわたしたちがくふうして生活することによって、減らすことができます。ごみを少なくするために、物を大切に、捨てる前に資源として生かす方法を考えましょう。

資源として使えるようにする R recycle (リサイクル)
● ひん類
● アルミ缶、スチール缶
● ペットボトル、食品トレイ

ふり返ろう ● 生かそう
自分でも活用できない物でも、地域の決まりに従って、きちんと分別して出すと資源として再利用・再生利用ができます。地域で集められたごみを処理するためには多くの費用と資源が使われています。ごみはわたしたちがくふうして生活することによって、減らすことができます。ごみを少なくするために、物を大切に、捨てる前に資源として生かす方法を考えましょう。

▲ 教科書 28・29 ページ

● 「お金の使い方」でも買い物の学習だけでなく、物を大切に使い生かすことを繰り返し学べるようにしています。

消費 買う前に考えよう

買いたい物とその理由

買いたい理由をまずあげてみよう。また、本当に買う必要があるかどうかを考えてみよう。

買おう
買わない
買わない

必要な
必要じゃないけどほしい
必要ない

（買ったあとのことも考える）
（家族に相談する）
（買うかどうかを考える）

買わない
・修理して使う
・借りる
・ゆずってもらう

買う以外の方法があるかな？

▲ 教科書 53 ページ

伝統文化やキャリア教育の視点を

具体的に示しています

◎ 生活に根ざした「伝統文化」やこれからの自分を考えるうえで大切な「キャリア教育」についても多数掲載しています。

● 児童の生活にも身近な伝統文化を取り上げています。

「食」に関するもの



▲教科書 45 ページ

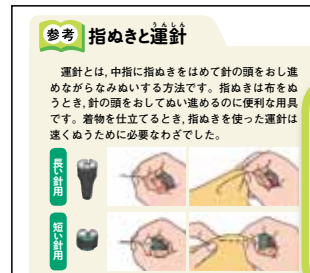


▲教科書 103 ページ



▲教科書 9 ページ

「衣」に関するもの

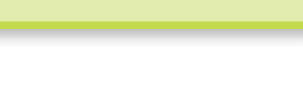
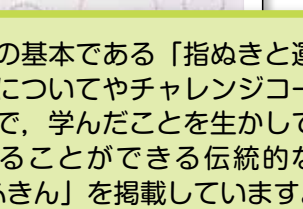
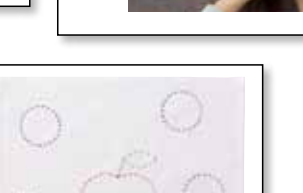
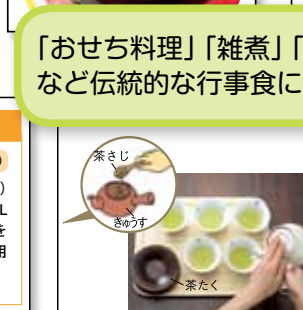


▲教科書 103 ページ

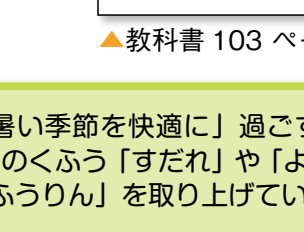
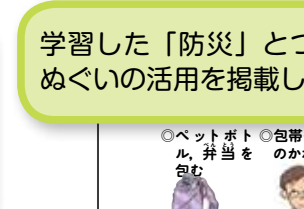
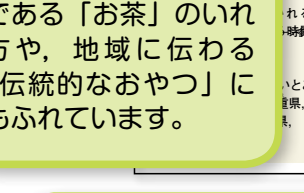
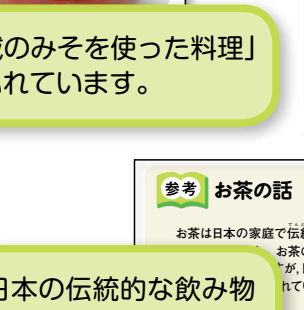
「住」に関するもの



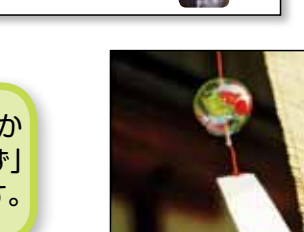
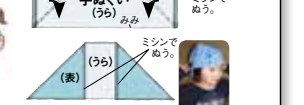
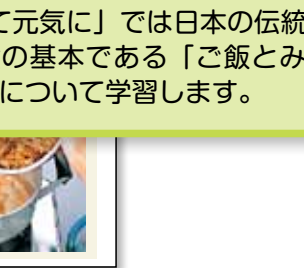
▲教科書 103 ページ



▲教科書 103 ページ

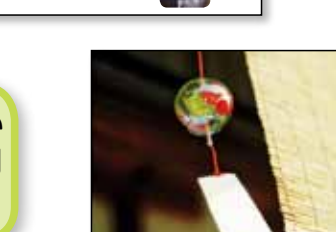
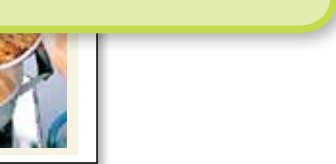


▲教科書 51 ページ



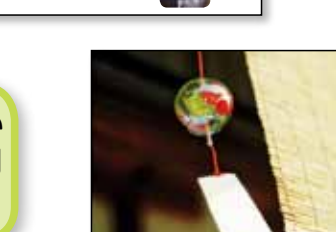
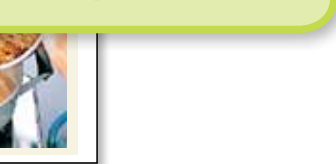
▲教科書 51 ページ

「食べて元気に」では日本の伝統的な和食の基本である「ご飯とみそしる」について学習します。



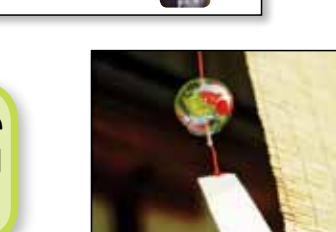
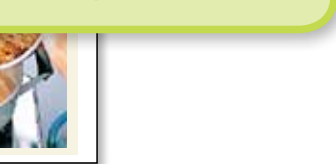
▲教科書 51 ページ

「おせち料理」「雑煮」「地域のみそを使った料理」など伝統的な行事食にもふれています。



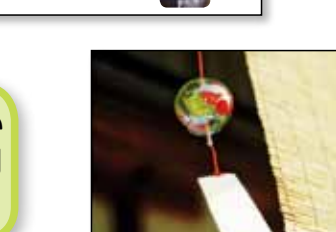
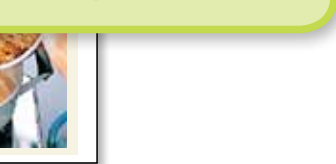
▲教科書 51 ページ

「お茶の話」お茶は日本の家庭で伝統的な飲み物です。地域に伝わる「伝統的なおやつ」にもふれています。



▲教科書 51 ページ

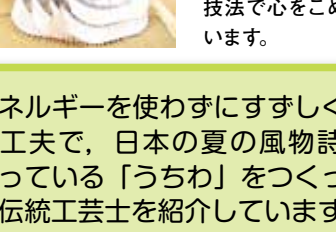
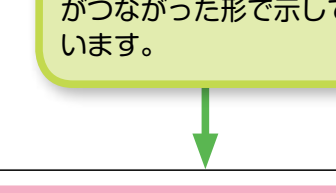
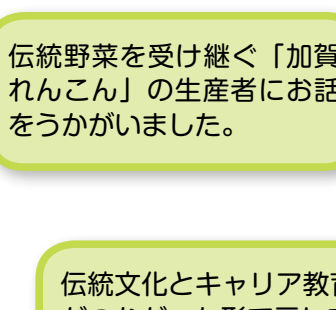
「暑い季節を快適に」過ごす昔からのくふう「すだれ」や「よしず」「ふうりん」を取り上げています。



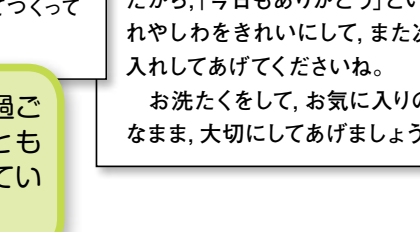
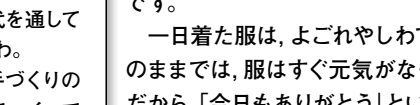
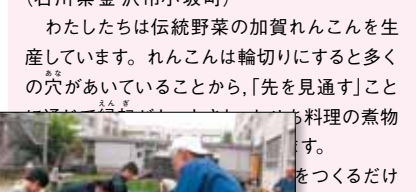
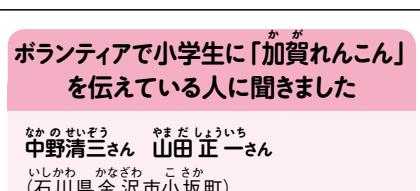
▲教科書 51 ページ

● キャリア教育につながるように、実在の人が登場しています。

「食育・料理研究家」「クリーニング師」「うちの伝統工芸士」「伝統野菜（加賀れんこん）を生産している人」の話を掲載しています。



▲教科書 103 ページ

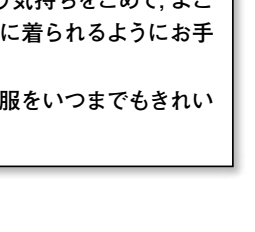
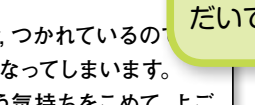
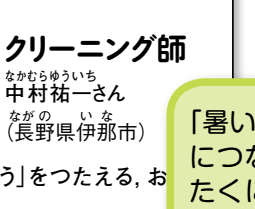
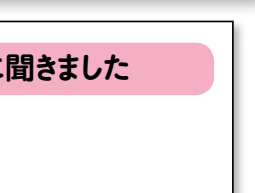


▲教科書 103 ページ

教科書 103 ページ

防災
災害時のたき出し

災害時のたき出しにも、おにぎりやみそしるがつくれます。どのようなときでも、食べなければ元気は出ません。「ご飯」をたくことができれば、みんなで助け合うこともできます。ふだんから料理に慣れておきましょう。食中毒を起こさないよう、注意して安全につくって食べましょう。

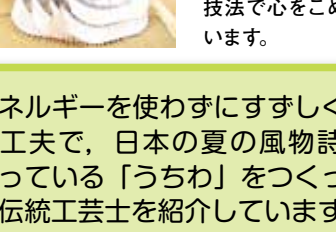


▲教科書 103 ページ

伝統野菜を受け継ぐ「加賀れんこん」の生産者にお話をうかがいました。

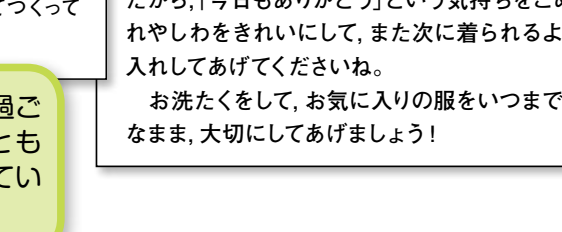
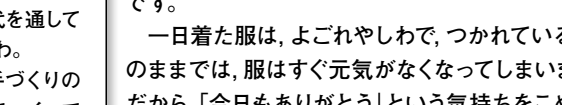
伝統文化とキャリア教育がつながった形で示しています。

「うちわづくり」の達人に聞きました



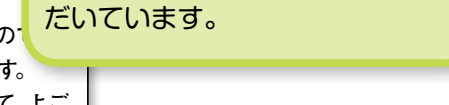
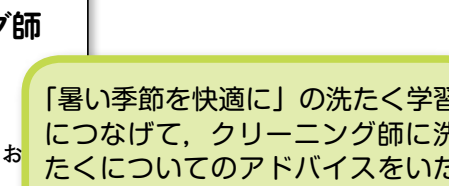
▲教科書 103 ページ

「洗たく」の達人に聞きました



▲教科書 103 ページ

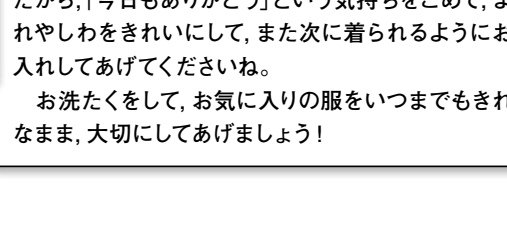
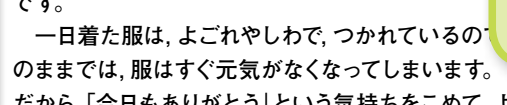
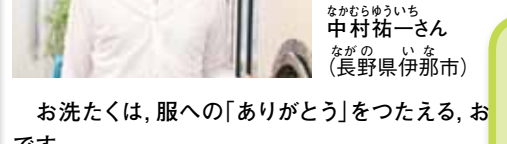
「暑い季節を快適に」の洗たく学習



▲教科書 103 ページ

エネルギーを使わずにすずしく過ごす工夫で、日本の夏の風物詩ともなっている「うちわ」をつくっている伝統工芸士を紹介しています。

クリーニング師



▲教科書 103 ページ

「暑い季節を快適に」の洗たく学習につなげて、クリーニング師に洗たくについてのアドバイスをいただいています。

新教科書の観点別編集の特色

主な観点	特 色
学習指導要領との関連	● 学習指導要領の「家庭科の目標及び内容」「指導計画の作成と内容の取扱い」が明確に整理され、個に応じた創意ある学習指導が展開できる構成である。 ● 学習指導要領の内容ＡとＢ・Ｃ・Ｄ及びＤとＢ・Ｃを関連づけて学習できるように工夫して構成され、無理なく基礎・基本をおさえた学習ができるように、適切な配慮がされている。
内容の範囲・程度	● 児童の生活経験や発達段階、授業時数を考慮した範囲や程度が適切に定められている。 ☆「範囲」は学習指導要領に適合していて、児童の生活経験を十分に配慮し、授業時数など学校事情や児童の実態に弾力的に対応できるように工夫がされている。 ☆「程度」は、児童の心身の発達段階によく適応して工夫されている。
内容の選択・扱い・系統性	● 各題材とも、学習指導要領に照らして選択・扱いは適切である。 ☆実習題材は児童の発達段階に合って、関心・意欲をもって取り組める。 ☆基本となる複数の実習題材のほか、応用・参考例も扱われていて適切である。 ☆特定事項・事象・分野などにかたよることなく、全体として調和がとれている。 ☆共生社会をめざした人権への配慮や、国際社会に生きる日本人としての自覚や豊かな感性を育成できる内容の選択及び取扱いがなされている。 ● 各題材とも、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な内容の学習へと系統的に展開され、児童の思考の流れにそっていて、教科の特徴が無理なく具体化されている。
内容の組織・配列・分量	● 各学年のテーマのもと、ストーリー性を考慮した題材配列がなされ、見通しや目標をもって学習できる。 ● 題材の組み換えもしやすく、地域や学校事情等に適合した使い方ができる。 ● 家庭生活や家族の題材が各学年の最初にあり、いずれも生活を見つめ直すことから学習を始めることができる。 ● 衣食住の題材は易から難へと、さらに季節等を考慮して配列され、最終題材には他者との共生につながる題材が配置されている。 ● 調理実習を早期に設定して興味づけを図り、学校行事や総合的な学習との関連が図れるように、ごはんやみそ汁が５学年に配置されている。 ● 実習と座学の内容は、いずれも分かりやすく工夫して配分されていて、組織及び分量はきわめて適切である。
主体的な学習への取り組み	● 各題材は「学習のめあて」で始まり、課題解決型学習を通して、最後には「ふり返ろう・生かそう」で家庭実践につなげるように工夫され、学習過程では「できたかな」チェックなども取り入れ、児童が主体的に無理なく学習を進めるためのいろいろな配慮がされている。 ☆導入時や学習過程で「話し合おう」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」等の課題が適切に配置されている。 ☆課題解決の手がかりとなる例示や写真・図表・イラスト等が、過不足なく適切に記載されている。 ☆分かりやすい各種のマーク（p.5 参照）が設定され、さらに、児童に親しみやすいキャラクターが学習案内をしたり、つまずきやすい箇所では注意を喚起したりするなど、児童が課題意識をもって主体的に学習するための支援が適切になされている。 ● 各学期末の「チャレンジコーナー」は、長期休暇を利用した家庭実践への主体的な取り組みに向けた題材として適切である。
基礎的・基本的事項の扱い	● 基礎的・基本的な知識や技能に関する内容が厳選して的確に記述され、易から難へと確実な習得ができるように、よく工夫されている。 ● 調理や製作の実習手順図は、児童の視線の流れを考慮して見開きページを使って横に流れる記述で（p.10 ～ 13, 18 ～ 23 ほか）、基礎・基本を習得するための適切な配慮がされている。 ● 5 学年の最初の調理実習（p.8 ～ 17）では、湯をわかしてゆでる調理題材を４つに細分化して構成・配列し、細かなステップを踏んで繰り返し学習して、早い段階から調理の基礎・基本の定着を図る工夫がなされていて適切である。 ● 技能面の写真は、詳細かつ分かりやすくていねいに表現され、細部については拡大写真を添えるなどして、きわめて適切な配慮がされている（p.12・13, 16 ～ 21, 36 ～ 41, 46 ～ 49 ほか）。特に調理の手順については、すべて写真で示されているので、児童が状態を確認しながら作業を進められる。
内容の正確性	● 本文、図表、写真など、いずれも正確に記述されている。
ガイダンスと 2 学年の見通しをもったストーリー性	● 表紙及び冒頭ページから第 1 題材まで続くガイダンス内容は適切である。また、5 学年では学年テーマのもとに細かなステップで学習を積み上げて基礎・基本を習得し、6 学年では工夫・応用しながら生活に生かす力を身につけて中学校へつなげるという流れになっており、2 学年間の見通しをもって学習できるように、よく工夫されている。
安全・防災教育への対応	● 家庭科での安全・防災について、基本的事項が、巻頭の折り込み頁にまとめられているので、いつでも開いたままで確認できる（p.3「安全に学習をすすめるために」）。 ● 作業上の事故防止や安全・防災教育についての細かい配慮がいきとどいている。 （例：p.3, 9, 11 ～ 14, 21, 33, 34, 37, 39, 48, 50, 61, 65, 71, 72, 77, 85, 103, 107, 108, 111 など）
食育への対応	● 食育に関するページには「食育マーク」が付され、記述内容は知識・技能・心情面いずれもよく工夫されている。 ☆五大栄養素など、食品のはたらきと栄養に関する内容は、本文・イラストいずれも的確な記述で分かりやすい。 ☆「わたしの生活時間」から「いためてつくろう朝食のおかず」（p.66 ～ 72）は、生活時間の工夫と朝食を関連づけ、生活を総合的に捉えた望ましい題材であり、自らの生活習慣を見直して食生活を改善するなど、健康に過ごすための実践的な態度が育てられる。 ☆折り込みの「栄養素のおもなはたらきと食品の分類」は、食に関するどのページにも開いたまま活用できるように工夫されている。 ☆「和食」や「一汁三菜」にもふれられており、地域の食材を取り入れた調理にも対応できるように、郷土食や伝統的な食文化が具体的に示されている（例：雑煮、おせち料理ほか）。 ☆食事のマナーについても取り上げられている（p.10,12,71）。 ☆食物アレルギーについても取り上げられている（p.10,12,71）。
言語活動への対応	● 調理や製作等の実践的・体験的学習を通して、家庭科で用いる生活の中の言葉が生きた言葉として理解できる場面や、観察や実習の際のレポート作成や考察・発表等の場面で、学習過程の各所に設定されている。 ● 本文中の重要語句を太字で示したり、「ひとロメモ」で言葉の解説をしたりして、理解を深める工夫をしている。 ● 巻末に、「家庭科学習でよく使われる用語一覧」が、内容 ABCD ごとに分類して掲載されており、さくいんとしても活用できる。
環境教育への対応	● 各題材の中で ABC の学習内容と関連づけて取り扱い、実践的態度を身につけられるように細かい配慮がされている（p.28,32 ほか）。 ● 環境を考える 3 つの視点（3 R）に「断る」視点も加えた 4 R が明確に記述されている（p.28・29, 55）。 ● 「5 学年のふり返りと 6 学年への学習」（p.64・65）では環境を守ることにについて考え実践すること、6 学年の最終題材（p.104 ～ 108）では総合的に扱うなど、実践的な環境教育が充実して取り扱われている。 （以上の例：p.9, 14, 28・29, 32, 60, 65, 72, 81, 85, 86, 105, 108, 111 など）

主な観点		特 色
消費者教育への対応		● 消費者教育として基本的に共通することは大きく2つの題材として取り扱っているほか、2学年を通して他の題材の中でも学習内容と関連づけて取り扱い、消費者としての実践的態度が身につけられるように工夫されている。(例:p.25 ～ 29, 52 ～ 55, 71, 83 など)
共生社会への対応		● 男女の性別や障がいの有無にかかわらず、子どもから高齢者まですべての人が平等な関係であることを前提にして、記述や課題の設定・写真や図が工夫されている。(例:p.6・7, 104 ～ 107 など)
伝統文化・キャリア教育		● 小学校での「伝統文化」の扱いである、ご飯とみそ汁の内容が充実されており(本文で、ご飯とみそ汁が日本の伝統的な食事であることや、「参考」で「移り変わるご飯の炊き方」や「みそ」について、写真を用いて掲載されている(p.45 ～ 49) その他、みそ料理と雑煮、お茶とおやつ、伝統工芸士(うちわづくり)、手ぬぐい、おせち料理も扱われている。(例:p.51, 63, 87, 103 など) ● 随所で、仕事をしている人のイラストや写真を取り上げて、キャリア教育につながるように工夫されている。(例:表紙の農家、青果店のイラスト, p.7, 14, 50, 87, 103 など)
地域への適応性		● 衣食住などの内容を関連させ、総合的に題材が構成されていて、地域での児童の生活と関連づけた学習が展開できる。 ● 児童の目が地域に向き、地域の人々とのかわりの大切さが認識できるように具体的な活動例が盛りこまれている。 ● 地域性を生かした食材や調理例(郷土食)や伝統文化が取り上げられ、それぞれの地域での工夫がしやすい。(例:p.45, 48, 49, 51, 57, 63, 79, 103 など)
科学的視点		● 各題材とも、科学的な目を育てる配慮が十分にされている。(例:p.12, 13, 14, 38, 47, 56, 58, 69, 71, 78, 81, 82 ～ 85 など)
他教科との関連		● 他教科との関連する学習内容は、「関連」マークを用いて、学習する教科、学年、内容が明記されていて、系統的な学習が図られるように工夫されている。「関連 社会5年:食料生産、理科5年:植物の発芽、成長、結実」など
授業時数への対応		● 5学年(標準履修)は10題材、6学年は7題材が設定されているが、5学年は反復学習をして基礎・基本の定着を図るために題材が細分化されていて、5学年の年間60時間に対応している。6学年は5学年を基礎として工夫していく7題材で年間55時間の授業時数に対応できる。
2学期制への対応		● 地域の実情にそって指導・学習の組み換えがしやすいように題材が構成されているので、2学期制に十分対応できる工夫がされている。
指導と評価の一体化		
表 記・表 現	カラーバリアフリー	● カラーバリアフリーの観点から、弱視の子どもたちに読み取りやすい配慮がされている。4つの内容の色の区別、重なった図の示し方、隣接する部分の配色、図中の引き出し線の示し方、など。(例:p.36・37, 91 ～ 94 など)
	文章表現・表記	● 《です・ます》調のソフトな表現で、簡潔かつ正確に表記されている。 ● 5・6学年配当の漢字については、見開き頁ごとの初出箇所にふりがなをつけている。 ● 重要語句は太字(ゴシック体)にして、表記のめりはりをつけている。 ● 大小の題材名は、課題意識を高める表現になっている。
	各題材の導入ページ	● 明確な「学習のめあて」を題材名の横に定位置化して記述し、児童が身近に感じられるものや、これからの学習をイメージできる写真などを用いて学習への意欲づけが効果的にはかれる。
	図表・イラスト・写真・資料	● 課題を解決するための手がかりや本文内容の理解を助ける資料が、効果的な表現や分量・大きさで示されている。(例:p.18・19, 22・23, 56, 69, 78, 110 ～ 112 など多数)
	各種マーク・キャラクター	● 児童が関心・意欲をもって主体的に楽しく学習を進められるように、目立ちやすいマークが効果的に用いられている(例:p.3, 5, 9 など多数)。また、キャラクターが各ページに登場して、学習の進行をしたり、児童のつまずきやすい内容について注意を喚起したりして、学習上きわめて効果的である(例:表紙、裏表紙, p.5, 9, 20, 53, 61, 89 など多数)。
	レイアウト・色調	● ワイドな紙面の見開きページを効果的に活用して、手順図などが横流れにレイアウトされていて分かりやすい。本文と参考、資料等の区分も明確になっていて(「参考」はマークを用いて示され、かつ本文と区別したアミフセが施されている)児童に伝わり、見開きページが有効に活用されていて、扱いやすい教科書になっている。 ● 色は、4つの内容をツメ見出しの色で区別されており、学習する内容がわかりやすく、児童が意欲をもって学習に取り組めるように配慮されている。(例:p.5, 7, 8, 18, 25, 52 など)
印刷・造本・体裁	表紙	● 「家庭の樹」を中心にして、学んで成長していく自己の姿が楽しく夢のある表現で提示されていて、ガイダンスの入り口として活用できる。
	印刷	● 印刷は鮮明で、カラー効果が生かされている。 ● 再生紙を使用すると共に、大豆油インクを使用していて、環境に配慮している。
	製本	● きわめて堅牢で、表紙には水に強い加工が施され、長期の使用に耐えるものとなっている。
	用紙	● 本文の紙の質は、文字やイラスト・写真が見やすい白色の再生紙を用い、じょうぶで目が疲れにくく学習しやすい。

総 括	● 内容の範囲・程度・選択・扱いが適切で、組織・分量や内容の取り扱い、表記・表現などで細かな工夫が見られる。 ● 各題材は、児童の心身の発達にそっている。 ● 季節や学校行事等にも配慮した構成で、児童の興味・関心・意欲を高めながら問題解決的な学習が無理なく展開でき、系統的な学習が進められる。 ● 主体的に学ぶ力、創意工夫する力を養い、あわせて、家庭生活や地域での生活で応用・実践していく基礎的・基本的な知識と技能が習得できる（習得、活用、探求する力を培うことができる）。 ● 安全・防災や環境・消費者、科学的視点についても、総合的な取扱いだけでなく、特に安全・防災については前折り込みの 1 頁大に基本的事項がまとめられて示され、随時開いて確認できる。それぞれの学習場面と関連づけて随所に取りあげてある。 ● 学習したことが児童の生活に生きるように工夫されている。更に家庭実践への橋渡しのページ（チャレンジコーナー）が設定されている。
-----	---

● 特設(折り込み)ページは、次のような学習時に開いたままで活用できます。それによって学習を効果的にすすめることができます。

